

御指導くださるのは、さぞ骨の折れることだろうと思うにつけて、申し訳ないやら、ありがたいやら……。あつといふ間に十カ月が過ぎ、数少ないが作品も出来上がった。まだ先は長いし、ずっとサークル活動を続けていきたいと思つている。このような中で多くの人を知り、友人もできた。先日もグループ連絡会主催のスキーツアーに参加した。バスに揺られて、歌いながら、ああよかった——と、人々とのふれあいに心暖まる感激に浸つた。

このようにたくさんのお楽しみを生みだす母体ともいえるセンターをもつと各区に欲しいとしきりに思う、センターに足を運びたいと思つても地理的条件が悪いとか、交通が不便だったりすれば敬遠せざるを得ない場合もあるのではないか。私たち働く若人にとってセンターの存在は、暖かく憩えるホームになって、コミュニケーションを広げる役目を果たしている。聞くところによると、青少年育成の予算が、僅少だとのこと。数多くの問題をかかえている市政でも、何とか工夫して頂けないものだろうか。素晴らしい人格にふれ、また知識に接することによって生まれる貴重な体験を多くの若人が恵まれるよう願つている昨今です。

(慶応大学事務職員)

## 市民一人ひとりが支える地域

荒井 幸子 (戸塚区 49歳)

待望の東戸塚駅も昭和五五年秋の開業を目指して、二月一日に起工式が行われました。これから生まれる新しい街は、横浜の顔、安心して生活できる市民中心の街を期待し、力を合わせて進んで行きたいと思ひます。

私達にとって東戸塚駅開業は待ちに待ったことの一つです。多くの方々の長年の努力に感謝申しあげます。散歩を兼ねて買物に出かけられる便利さと、新しい商店街に落ちていて買物出来る店をお願いしたい。駅への交通は大変な混雑が予想されます。是非一日も早い環状2号線の建設が待たれます。

横浜の住民として一七年、ポツンポツンと建てられた殺風景な住宅もそれぞれの風情と落ち着きが出て来ました。毎月第一・第三日曜日朝九時からの下水掃除のときは、終つてから桜の木の下で、その間の出来事、小さな相談ごと、防犯などについて話し合えるひとときでありこれからも続けたい。

ゴミも増えて増えてとみなさんおっしゃる。市でも週三

回収集地区を増やす考えと聞きますが、野菜くづは植木の肥料に、紙屑は燃やすとゴミは半分位に減ります。古新聞紙、雑誌、ポロ類は自治会の廃品回収に出しますと運営資金も生まれます。資源の有効利用と、ゴミの減量化、そしてノー包装運動も私達の姿勢一つで実行出来るもの、是非続けましょう。

もう一つボルノ雑誌追放運動も住民の協力が大きな力となり、見守ることで効果のあるものと思えます。

その他、二〇〇カイリ問題で魚が高値です。そこで安くておいしいウマヅラハギを皆さまの食卓にどうぞ。さしみ、フライ、なべ物等淡白でおいしくいただけます。最近相模湾でたくさん獲れています。が中央卸売市場で取扱われておらず、小売店ではほとんど見当りません。是非、流通にのせたい魚なのです。

最後に、青空広場が出来たら……………。野菜は勿論、庭の柿等食べきれない時には持ち寄って、花も良し、趣味の手作りの品々、また、不用のまだ役立つ衣類など何でも青空広場へいって交換しようという憩いの広場が作れないでしょうか。

あれこれ書きましたが、この大きな横浜も私達一人ひと

りの協力で支えられている自覚と地域と行政が一体となつてゆとりとふれ合いのある市民生活、そして新しい街づくりに努力したいと思います。

(主婦・消費生活モニター)